METI-RIETIシンポジウム

大震災からの復興と新しい成長に向けて

プレゼンテーション資料

横山 廣人
岩機ダイカスト工業株式会社
専務取締役

2013年3月22日

2013-3-22

岩機ダイカスト工業株式会社

1　会社概要

2　地震発生から復旧までの経過

3　今後の対策

1　会社概要

代表者	代表取締役　鎌田　充志
資本金	2億円
事業内容	・アルミ・亜鉛・スクイズダイカスト製品 ・精密亜鉛ダイカスト製品 ・金属粉末による射出成型品（モルダロイ） MIM（Metal Injection Molding）
従業員	318名
生産拠点	国内　4工場（宮城県、埼玉県） 海外　1工場（アメリカ　アリゾナ州）
創業	昭和43年(1968年)

宮城県山元町

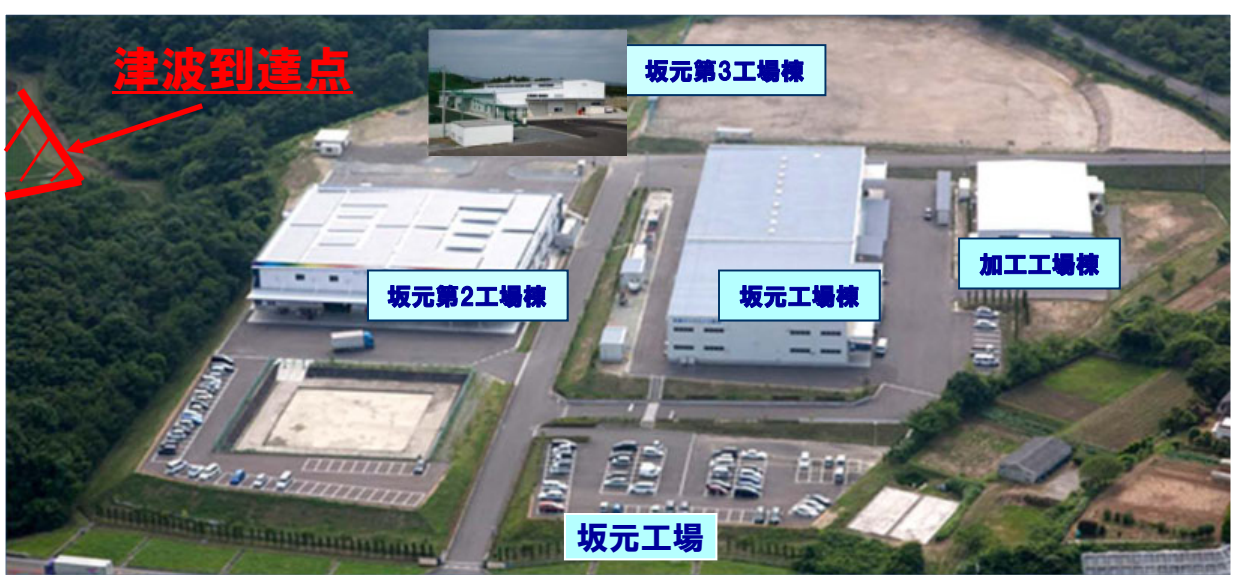
岩機ダイカスト工業株式会社

工場全景

金型工場棟
亜鉛ダイカスト工場棟
スクイズ工場棟
アルミダイカスト工場棟
本社工場

宮ノ脇工場

埼玉工場


津波到達点
坂元第3工場棟
坂元第2工場棟
坂元工場棟
加工工場棟
坂元工場

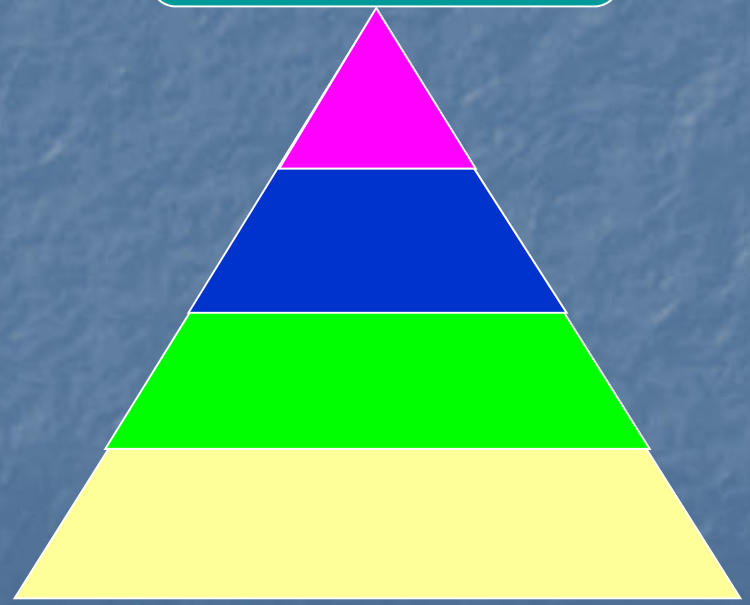
TPP

茨田工場

業界での位置付け

ダイカスト部門売上の80％が自動車関連

サプライチェーン



車体組立メーカー	トヨタ、ホンダ、日産等
Tier Ⅰ	KN、ボッシュ、CK、THK
Tier Ⅱ	岩機ダイカスト工業㈱
Tier Ⅲ	協 力 工 場

2. 地震発生から復旧までの経過

震　災　当　日

- 各鋳造工場はボヤ消火の為、消火器使用
- 停電発生　　溶解炉、保持炉固まる
- 従業員は全員駐車場に非難、怪我人無し
- 大津波警報で従業員をすぐに帰宅させず待機
- PM3：40頃津波を確認　PM4：00過ぎに従業員帰宅開始
- 帰宅困難者二十数名会社に避難

被害状況

- 人的被害　社員ゼロ、　内職者　２名犠牲
- 社員家族に犠牲者　２５名
- 社員住居の被害　全壊・流失　４９名
- 設備　電気炉全て固まる
  茨田工場津波にて流失
  技術管理棟一階地盤沈下
  坂元第二工場棟壁倒壊
  モルダロイ焼結炉破損
  協力工場貸与設備流失
  その他建屋被害個所多数

溶解炉

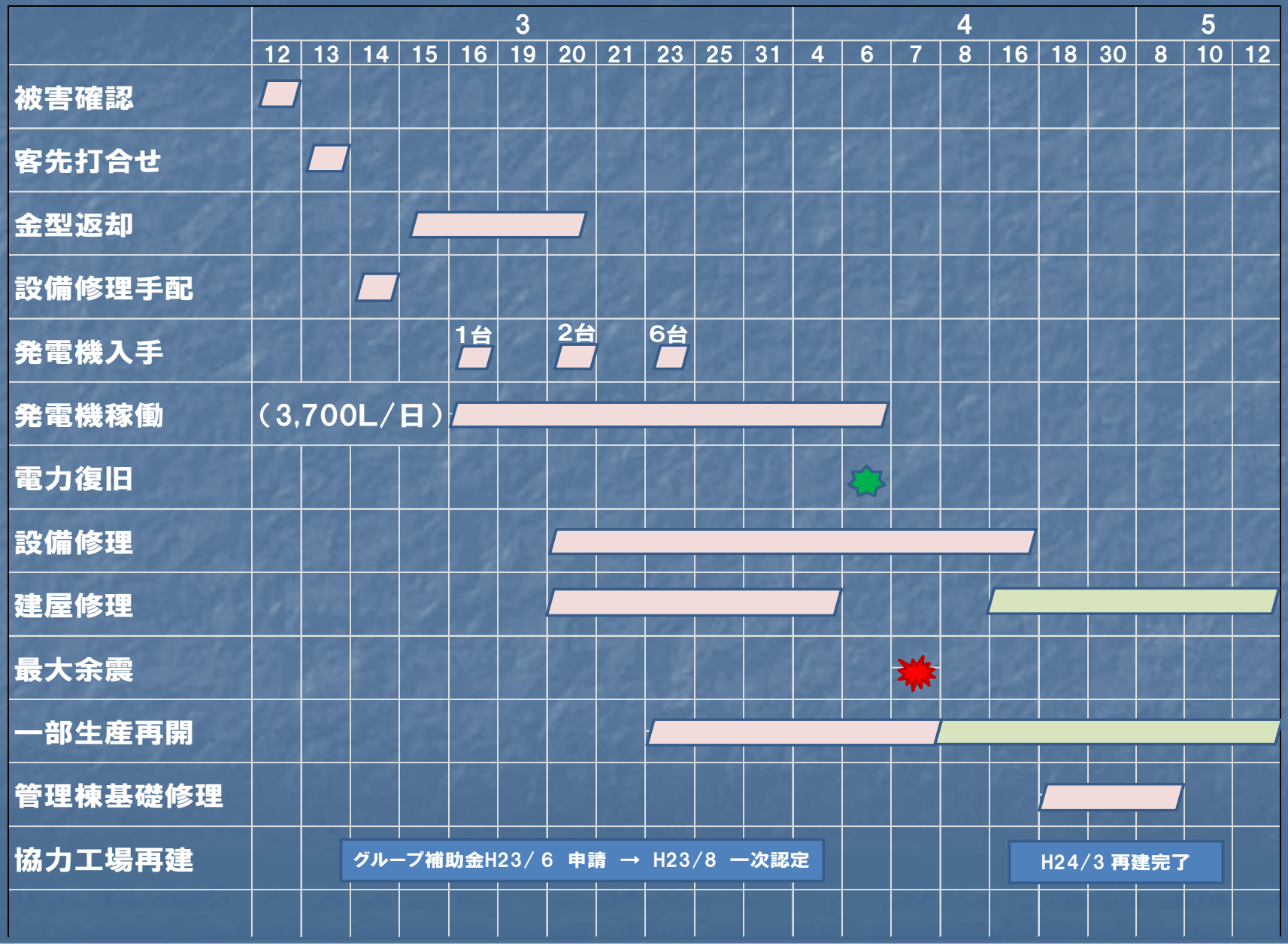
茨田工場

金型工場

MIM工場

駐車場

復旧スケジュール


3
4
5
12 13 14 15 16 19 20 21 23 25 31 4 6 7 8 16 18 30 8 10 12
被害確認
客先打合せ
金型返却
設備修理手配
発電機入手
1台
2台
6台
発電機稼働
（3,700L/日）
電力復旧
設備修理
建屋修理
最大余震
一部生産再開
管理棟基礎修理
協力工場再建
グループ補助金H23/ 6 申請 → H23/8 一次認定
H24/3 再建完了

豊基礎工業株
豊
NES610
KW
120

878S
NES400

設備復旧の手配

サプライチェーンの供給責任を果たす為、
一刻も早く電気炉設備の復旧が必要！

神戸の築炉メーカーにTEL,修復用材料、
作業人員の手配依頼

耐火レンガ、浸漬ヒーター用セラミックチューブ
ヒーター本体、凝固アルミ溶解用バーナー等

手配が2～3日後だったら
他社からの依頼も重なり
納期は大幅に遅れた。

初期手配が重要

供給責任

ダイカスト製品を生産する為には金型が必要
金型法案は各社異なり、ノウハウが凝縮されている
金型を見ればその会社の考え方が判る
製品のQ．C．Dは金型で決まる

金型は外部に出したくない！

Tier Ⅱ として供給責任がある
安易な考えで生産出来るとは言えない
我が社の責任で組立メーカーのラインを止めない
仕事量は半分に減るだろうと覚悟した

金型の返却！

金型の返却

・客先の生産を止めない為に、他社に金型を移管し生産が可能かどうかを確認

・在庫量の確認

↓

金型移管の打合せ

↓

金型移管実施

↓

優先順位を決め復旧工事

↓

工事完了次第生産開始

↓

今回の震災対応で得意先との信頼関係がより深まり、又技術力の評価を受ける事で新規部品の受注に繋がり、８月には受注を１００％に回復できた。

受注状況

４月	76%	主に海外向け生産
５月	66%	徐々に回復
６月	83%	
７月	90%	
８月	102%	
９月	120%	
１０月	101%	
１１月	102%	
１２月	114%	
１月	122%	
２月	125%	

１１月以降の受注状況が心配

車販売台数の落ち込み
円高による海外展開の加速

タイ洪水による影響で自動車用部品減産

11月末迄に乗用車メーカーが操業再開、年内中にフル操業か？

得意先在庫消化完了で受注回復

３．今後の対策

今回の震災で工場が停電に対していかに弱いかを痛感！

↓

非常用発電機を３工場に設置し電気炉の凝固防止、通信手段の確保　９月設置済

お客様への被害状況
一斉送信手段の確立

本社工場、坂元工場、スクイズ工場

今後の対策

- 今回は在庫品での対応で急場は凌げた

↓

在庫はある程度持つべき！

- 外部の情報収集が遅れ納入対応に混乱

↓

ディーゼル発電機設置で電源確保

- 飲料水、非常食、携帯ガスコンロ、ガスボンベ
  毛布、電池等の備蓄

- 社員安否確認方法の確立

グループ補助事業の活用

復興のリード役となり得る中小企業のグループに対して
『施設・設備の復旧･整備に補助金を交付する』従来にない
施策として注目を集めた。

当社は協力工場の中で被害の大きかった金型製作とプレス
加工会社とグループを組んで申請。
協力工場においては認定を受けて復興に対する意欲が高まり、
３月末迄に完全に復興し、従業員の再雇用も出来た。

グループ全体が復旧し、製造サイクルを再開させなければ、
サプライチェーンの堅持、従業員とその家族の生活は守る
事が出来なかった。

ご支援有難うございました

岩機ダイカスト工業株式会社

みんなと共に
がんばろう!
東北